

- 問1 東アジア（日本など）の温帯の雨温図と、地中海沿岸の地中海性気候の雨温図を比較したとき、夏季の降水量に大きな違いが出る理由として最も適切なものはどれか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 東アジアでは夏に熱帯収束帯が北上して雨を降らせるが、地中海沿岸では常に大陸からの乾いた風が吹くため。

2. 東アジアでは夏に寒流の影響で雨が降らなくなるが、地中海沿岸では暖流の影響で夏に降水量が増えるため。

3. 東アジアでは夏に偏西風が弱まって乾燥するが、地中海沿岸では夏に赤道低圧帯の影響で雨が多くなるため。

4. 東アジアでは夏に海から吹き込む湿った季節風の影響を受けるが、地中海沿岸では夏に高気圧に覆われ乾燥するため。
- 問2 熱帯に属する地域のうち、サバナ気候に見られる気候の特徴について正しく説明しているものを選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 年間降水量が極めて少なく、樹木がほとんど育たない。

2. 一年を通して気温が高く、明確な雨季と乾季が存在する。

3. 夏は温和で乾燥し、冬に降水量が多くなる。

4. 一年を通して雨が多く、降水量の季節変化がほとんどない。
- 問3 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しれんがで家を建てている。

2. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。

3. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用した丸太づくりの住居に住んでいる。

4. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。
- 問4 低緯度の赤道直下に位置する高山気候の都市と、同じく赤道直下の低地に位置する都市の気温の変化を比較したとき、高山気候の都市に見られる特徴として正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 低緯度のため日射量が多いが、標高が高いため年間を通じて気温が低く安定している

2. 海から遠い内陸の盆地に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きい

3. 周辺を流れる暖流の影響により、標高が高いにもかかわらず熱帯雨林気候と同じ気温になる

4. 高緯度に位置する地域と同様に、冬の期間が長く夏でも気温が上がらない
- 問5 南半球に位置する地域の気候について、北半球と比較した際の特徴を説明したものととして、正しいものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 赤道からの距離が同じであれば、太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、北半球の地点と全く同じ時期に起こる。

2. 地球の公転と地軸の傾きにより季節が逆転するため、北半球が夏である時期に、南半球では月平均気温が低くなるなどの変化が見られる。

3. 北半球が夏至を迎える時期、南半球の各地では太陽から受けるエネルギーが最大となり、1年で最も気温が高い時期となる。

4. 南半球には北半球よりも巨大な大陸が多く存在するため、海の影響を受けにくく、1年を通じた気温の変化（年較差）が非常に大きい。
- 問6 ある都市の気候統計を分析したところ、最も寒い月の平均気温が約5度、最も暑い月の平均気温が約18度と気温の年較差が小さく、各月の降水量が年間を通じて50mmから80mm程度でほぼ一定という特徴が見られました。この都市が属する気候区分として正しいものを答えなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. ツンドラ気候

2. 地中海性気候

3. 西岸海洋性気候

4. 温暖湿潤気候
- 問7 南アメリカのアンデス山脈などの高地に暮らす人々は、標高が高く寒冷な自然環境に適応するための様々な工夫を生活に取り入れています。この地域の衣生活における特徴的な工夫として、最も適切なものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）

1. 厳しい寒さに対応するため、アルパカなどの家畜の毛を利用した厚手の衣服を重ね着している。

2. 激しい雨から身を守るため、樹皮を加工して作られた防水性の高い衣服を着用している

3. 強い日差しと砂ぼこりを防ぐため、全身をゆったりとした薄い布で覆っている。

4. 一年中気温が高く湿度も高いため、風通しの良い草の繊維で作られた衣服を身につけている。
- 問8 世界の諸地域の気候を分類したとき、日本の東京や、北アメリカ大陸・オーストラリア大陸のそれぞれの東海岸沿いの都市が共通して属している、温帯の気候区分を何といいますか。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. サバナ気候

2. 地中海性気候

3. 西岸海洋性気候

4. 温暖湿潤気候
- 問9 気温の変化を示す折れ線グラフが、7月から8月にかけて最も高くなる「山型」の曲線を描いている地点の地理的な位置関係について述べたものとして、正しいものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）

1. 北極に近い高緯度帯に位置している

2. 赤道付近の低緯度帯に位置している

3. 南半球の中緯度帯に位置している

4. 北半球の中緯度帯に位置している
- 問10 温帯の気候区分の一つで、夏季には亜熱帯高圧帯の影響を受けて気温が高く乾燥する一方、冬季には偏西風や前線の影響で一定の降水が見られる気候を何といいますか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 西岸海洋性気候

2. 温暖冬季少雨気候

3. 地中海性気候

4. 温暖湿潤気候
- 問11 南アメリカ大陸のアンデス山脈など、赤道に近い低緯度でありながら標高が高い地域において、人々がアルパカなどの動物の毛を用いた毛織物の衣服を着用している理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）

1. 標高が高くなると気温が下がるため、低緯度であっても寒さに対応する必要があるから。

2. 広大な砂漠が広がっており、夜間の急激な放射冷却による寒暖差が激しいから。

3. 高緯度地域と同様に、一年を通じて日照時間が短く気温が氷点下を下回るから。

4. 大陸の東側を流れる寒流の影響により、沿岸部から冷たい風が常に吹き込むから。
- 問12 日本の首都の気候データを読み取ると、1月の平均気温は約5℃、8月は約28℃を示し、降水量は6月と9月にピークを迎え、年間降水量は約1500mm程度となります。この気候が属する区分として正しい名称を選びなさい。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 温暖湿潤気候

2. 西岸海洋性気候

3. 地中海性気候

4. 熱帯雨林気候
- 問13 地中海沿岸の都市の統計において、夏季にあたる7月・8月の気温が高く、かつその時期の降水量が極端に少ないという特徴を持つ気候区分を何といいますか。雨温図で判断する際の名称を答えなさい。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 地中海性気候

2. ツンドラ気候

3. 西岸海洋性気候

4. 温暖湿潤気候

答え合わせ・解説

問1	答え 4 東アジアでは夏に海から吹き込む湿った季節風の影響を受けるが、地中海沿岸では夏に高気圧に覆われ乾燥するため。	温帯の中でも、日本を含む東アジアは夏に海洋からの湿った季節風（モンスーン）が吹くため、雨温図では夏季に降水量の山ができます。これに対し、地中海性気候は夏に乾燥した高気圧（亜熱帯高圧帯）に覆われるため、雨温図では夏季に降水量が極端に減り、谷のような形になります。
問2	答え 2 一年を通して気温が高く、明確な雨季と乾季が存在する。	サバナ気候は熱帯に分類され、年間を通じて気温が高い状態が続きます。また、時期によって雨が多く降る雨季と雨が少ない乾季が明確に分かれる点が大きな特徴です。
問3	答え 4 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。	世界の諸地域では、その土地の気候や地形に合わせて住居の形式が発展してきました。インドネシアなどの東南アジア島嶼部は熱帯雨林気候に属し、多雨で蒸し暑い環境にあります。そのため、風通しを最優先した高床式の構造が選ばれています。一方で、乾燥帯では日干しれんが、モンゴルのような乾燥した草原では移動式の住居、ロシアのような冷帯では丸太小屋（イズバ）といったように、それぞれ異なる工夫が見られます。
問4	答え 1 低緯度のため日射量は多いが、標高が高いため年間を通じて気温が低く安定している	赤道付近は年間を通じて太陽高度が高いため、季節による気温の変化（年較差）は非常に小さくなります。高山気候であってもこの性質は変わらないため、「一年中涼しい状態で安定する」という特性を持ちます。低地は「一年中暑い」のに対し、高地は「一年中涼しい」という違いがありますが、どちらも「一年中気温がほぼ一定」という共通点があります。
問5	答え 2 地球の公転と地軸の傾きにより季節が逆転するため、北半球が夏である時期に、南半球では月平均気温が低くなるなどの変化が見られる。	地球は地軸を約23.4度傾けた状態で太陽の周りを公転しているため、時期によって太陽の光を垂直に近い角度で受ける地域が変わります。北半球が太陽の方を向く夏季（6月～8月）には、南半球は太陽から遠ざかる向きとなるため、気温が低下し冬季を迎えます。このように赤道を挟んで季節が逆になる現象は、世界の気候特性を理解する上での基本となります。
問6	答え 3 西岸海洋性気候	気温の年較差が小さく、夏は涼しくて冬も極端に冷え込まないこと、そして年間を通じて降水量の差が少ないことは西岸海洋性気候の典型的な特徴です。地中海性気候は「夏に乾燥する」という特徴があり、日本の大部分を占める温暖湿潤気候は「夏と冬の気温差や降水量の差が大きい」という特徴があるため、これらと区別する必要があります。
問7	答え 1 厳しい寒さに対応するため、アルパカなどの家畜の毛を利用した厚手の衣服を重ね着している。	アンデス山脈のような高地では、低緯度であっても標高が高いため気温が低く、特に夜間の冷え込みが厳しくなります。そのため、現地で飼育されているアルパカやリャマなどの動物の毛を利用して、保温性の高い厚手の衣服（ボンチョなど）を作り、それらを重ね着することで防寒を行っています。また、耳まで隠れる温かい帽子をかぶるなど、頭部や耳を冷やさないための工夫も見られます。
問8	答え 4 温暖湿潤気候	日本の大部分が属している気候区分は「温暖湿潤気候」です。この気候は温帯の中でも最も降水量が豊富で、特に季節風の影響を受ける大陸の東岸に発達します。アメリカ合衆国東部やオーストラリア東部も、東京と同様に夏は蒸し暑く、冬は寒冷となるこの気候区に含まれます。選択肢にある西岸海洋性気候や地中海性気候も温帯に含まれますが、分布地域や季節ごとの降水・気温のパターンが異なります。
問9	答え 4 北半球の中緯度帯に位置している	北半球では7月から8月にかけて夏を迎え、気温が上昇するため、雨温図の折れ線グラフは中央が盛り上がる山型になります。一方、南半球では季節が逆転するため、7月付近が最も気温が低くなる谷型のグラフになります。また、中緯度帯は季節による気温差が明確に表れる地域です。
問10	答え 3 地中海性気候	この気候は中緯度の大陸西岸、特に地中海沿岸で典型的に見られるため、地中海性気候と呼ばれます。夏に乾燥し冬に雨が降るといふ、日本の大部分（温暖湿潤気候）とは逆の降水パターンを持つことが大きな特徴です。このため、夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの硬葉樹や果樹の栽培が古くから行われてきました。
問11	答え 1 標高が高くなると気温が下がるため、低緯度であっても寒さに対応する必要があるから。	アンデス山脈などの高山地域は、緯度の上では赤道に近い「低緯度」に位置していますが、標高が100メートル上がるごとに気温が約0.6度下がるため、一年を通して気温が低くなります。このような厳しい自然環境に適應するため、現地で飼育されているアルパカなどの家畜の毛を利用した毛織物を作り、防寒着として着用する生活様式が発達しました。「高緯度」だから寒いではなく、「標高が高い」から寒いという点が重要です。
問12	答え 1 温暖湿潤気候	東京を含む日本の本州、四国、九州の大部分は、四季の変化が明瞭で、夏に高温多湿となり雨が多く降る温暖湿潤気候に属しています。選択肢にある西岸海洋性気候や地中海性気候は、主にヨーロッパなどで見られる気候区分であり、日本の気候とは降水パターンなどが異なります。
問13	答え 1 地中海性気候	地中海性気候は、温帯の中でも夏季に亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため、気温が高く乾燥し、冬季には偏西風の影響で雨が降るといふ独特のパターンを持ちます。雨温図上では、気温のグラフが山型になる時期（北半球の場合）に降水量の棒グラフが極端に短くなることで判別できます。